

資料5

低炭素モビリティ・電子地域通貨WG 協議会報告資料

第7回あきたスマートシティ・プロジェクト推進協議会

場所: 秋田市環境部会議室

平成24年8月30日(木)

①電子地域通貨WG報告

1. WG開催状況

取り組み方針

【秋田市での電子地域通貨導入における課題・条件】

- ・市のポイント付与から、段階的に市全域（行政サービス、交通、商業等）へ展開していく。
- ・地元商業の導入促進のために、安価かつ簡易なインフラ・端末を目指す。
- ・地元経済循環へ寄与するシステムとする（地域外に資金が流れてしまわないようにする）

・将来的には・・・

- ◎ほっぺちゃんカードとの将来的な融合・統合が円滑に行われることを視野に入れる
- ◎公共交通のICカードとの連動、低炭素モビリティ事業との連動、民間によるシステム管理・通貨発行業務へ移行することへの対応
- ◎地域内で成立するビジネスモデルとする

上記を踏まえ、今年度は関係する事業者等が集まり、「本市での電子地域通貨のあり方」を具体的に検討する場を設定することとする。

★今年度の進め方について合意（協議会）

第6回協議会

電子地域通貨導入システム検討調査（仮）

①他地域の事例紹介
・導入事例調査

②あきた版電子地域通貨の全体像
・将来的な公共交通ICカードや低炭素モビリティなど、市全域での利用想定等

③全体像を実現するための導入ステップ

④あきた版電子地域通貨システムの要件整理
・初期段階でのシステム、機器
・提供サービスの要件

導入システム内容の検討（事務局等中心）

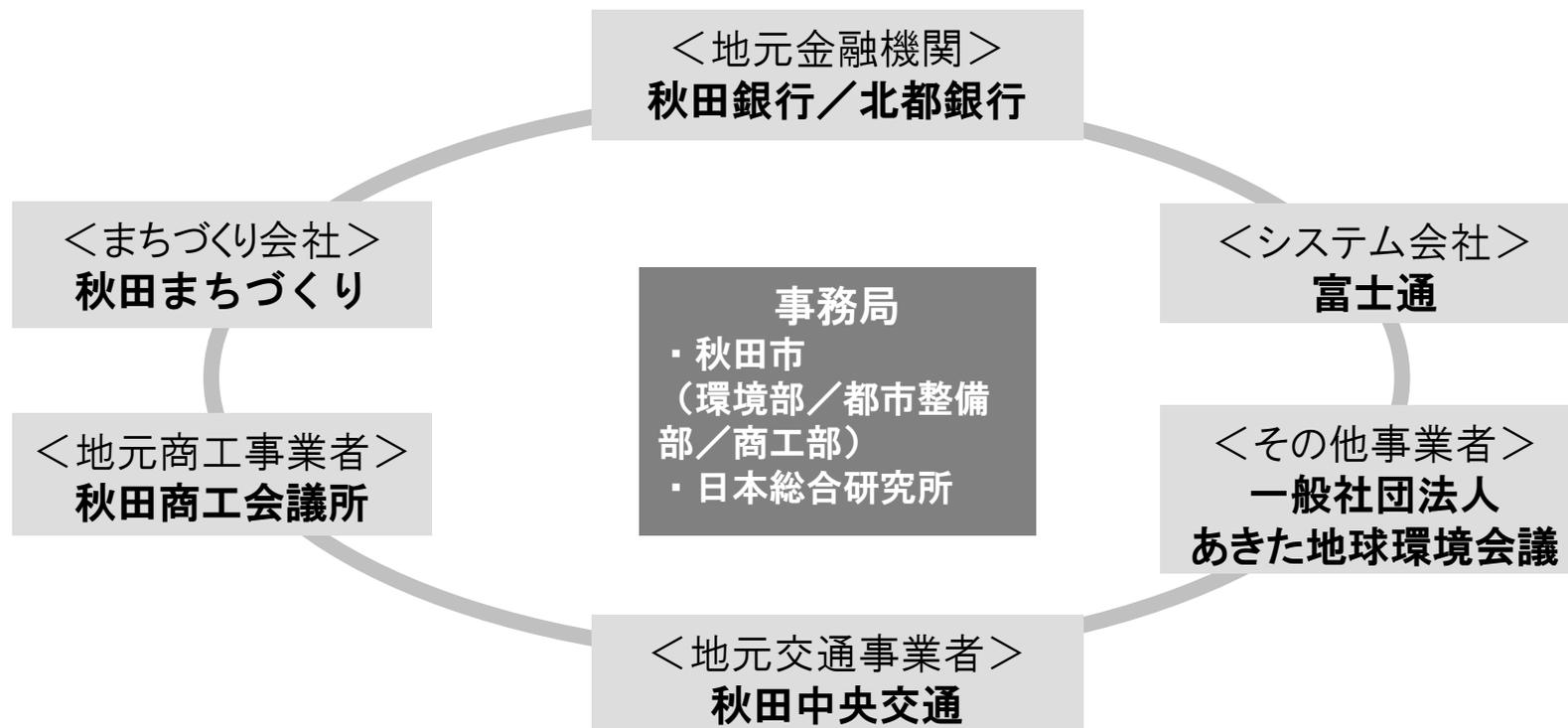
⑤システム毎の性能比較検討と評価
・事業者ヒアリング、対象システム等の比較検討の実施
⑥導入に向けた課題整理

3

第6回の協議会后、6/19、8/9の2回のWGを開催して協議。秋田市での電子地域通貨の活用方策について活発な意見交換を行った。

2. WG体制

事業者中心の検討体制とするために、以下のメンバーでWGを開催している。



3. 第1回WG概要

<第1回WG>

日時：平成24年6月19日(火)13:00～15:00

場所：秋田市 環境部庁舎 2F 大会議室

議題：

- ・メンバー自己紹介
- ・本WGの目的・進め方について
- ・他地域の「電子地域通貨」の導入事例について（富士通様より「電子マネーとは」「まちづくり福井の導入事例」）
- ・意見交換

<意見概要>

- ・エコポイントをどのように付与していけばよいか。
→何を原資にするかがポイント
- ・地域内で循環するような電子地域通貨システムとしたい。
→地域外に吸い上げられないような仕組みが望ましい。運営体制も要検討。
- ・本市で電子地域通貨を導入するにあたり、「既存に使われている何とタイアップさせることがよいのか」（銀行キャッシュカード？クレジットカード？社員証？等々）
→効率よく普及させ、かつ「いつも持っている」カードとのタイアップが効果的である。
- ・秋田の地域特性を踏まえたサービスは何か。
→秋田らしい電子地域通貨の導入を図ることが重要。

4. 第2回WG概要

<第2回WG>

日時：平成24年8月9日(火)10:00～12:00

場所：秋田市 環境部庁舎 2F 大会議室

議題：

- ・第1回の振り返り
- ・エコポイント型電子地域通貨の導入事例について(富士通様より「高知県での取組」紹介)
- ・秋田市での電子地域通貨のイメージについて(富士通様より資料提供)
- ・意見交換
- ・その他

<意見概要>

・次年度、国の事業を活用しながら、実証実験を始めたい。

→実証事業で終わらないように、目的を明確にして、その先の展開を見据えて実施すべき。

・将来的にどのような運営主体が実施すべきか、考えて行うことが必要である。

・実証事業を通じて、どれくらい利用者利便性が向上するのか、それによって自家用車利用からの転換がどれくらい図られるのか、などを検証する。

・将来的な展開方針を見据えて、次年度以降の取り組みを進めていくべき。単年度の取り組みとまらないような工夫が必要。

(参考)秋田での電子地域通貨展開イメージ(富士通様第2回WG提供資料)

公共交通・公共施設利用でカードを普及させる、将来的には地域活性化に貢献可能なサービスに発展。



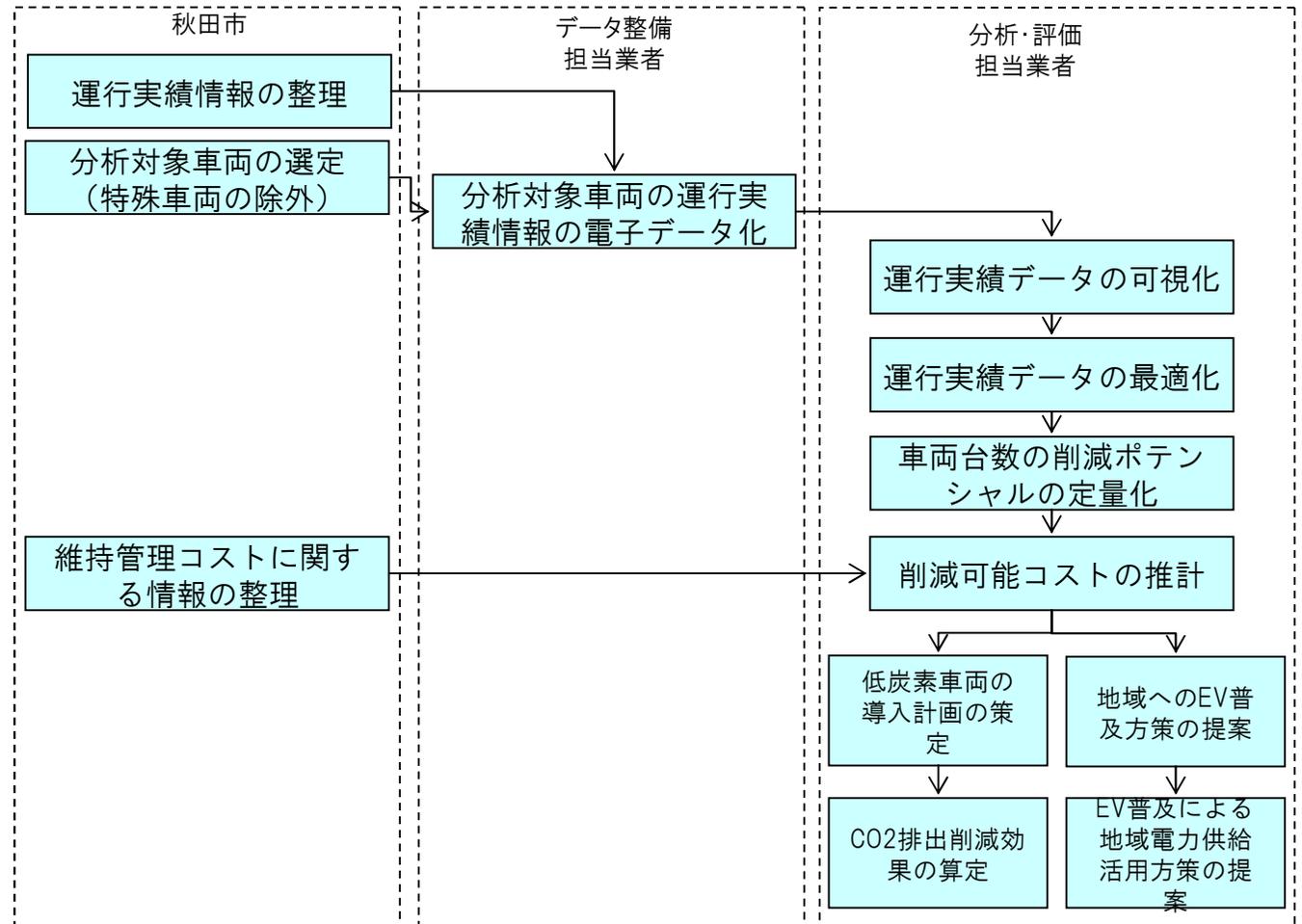
② 公用車低炭素化調査検討業務について

1. 調査概要

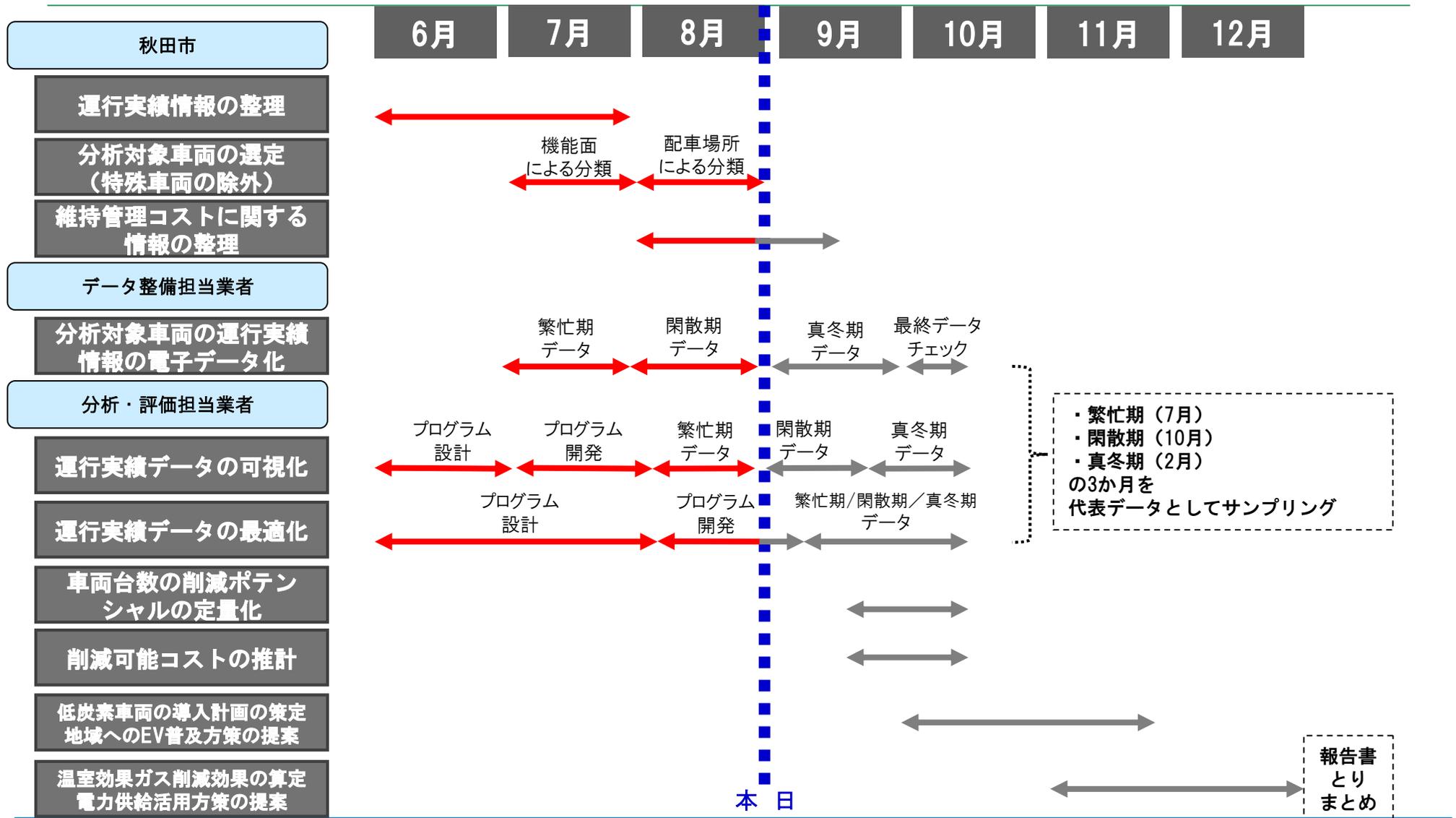
取り組み方針

- 秋田市が所有する公用車両の運行実績と維持管理経費を把握・分析し、車両の保有台数及び維持管理コストの最適化を行うことにより、
- 見出された削減可能コストを原資とする低炭素車両の導入計画の策定、及び地域へのEV普及方策の提案、
- 並びにCO2排出量の削減量算定、及び地域へのEV普及による電力供給活用方策の提案、
- 等々、秋田市として「あきたスマートシティ・プロジェクト」における将来展開に結びつけることを目的とする。
- 業務実施期間：6月～12月
- 県の緊急雇用創出事業を活用して実施

業務内容



2. 進捗状況



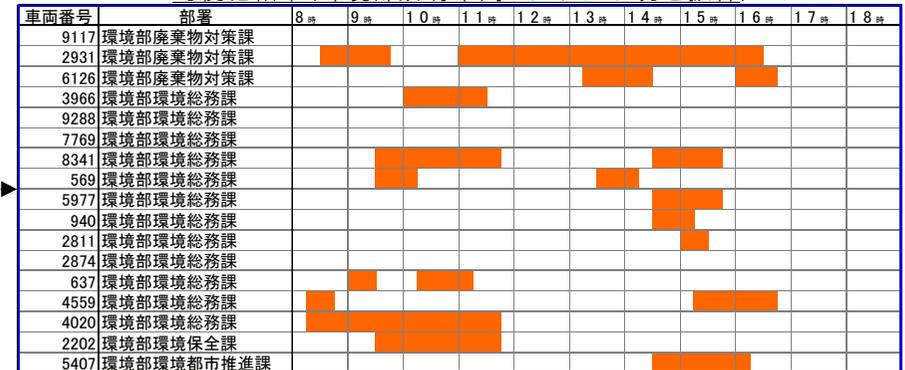
3. 現時点の成果と今後の進め方

【現時点の成果】

繁忙期(7月)における運行実績(約300台)を可視化

50~70台(約2割程度)の終日未使用車両が明確化

可視化結果(環境部所有車両における1日分を抜粋)(■は運行時間帯)



終日未使用だった車両数の毎日集計 (■は休日)

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	
61	287	294	71	57	60	62	71	291	284	76	49	68	59	74	
16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
293	294	297	75	61	67	68	288	290	75	57	74	69	79	280	286

【今後の進め方】

配車場所の違いに基づき分類して再評価

最適化分析により、さらなる削減ポテンシャルを顕在化

同様の分析を閑散期(10月)及び真冬期(2月)について実施

次フェーズ(削減コスト推計⇒計画策定・活用方策提案等)へ

車両台数最適化のイメージ

